

## 四 国

四国の景況は、住宅建築が減少傾向にあるものの、設備投資が持ち直し、観光が上向くなど、回復。

個人消費は、衣料品を中心に大型小売店販売が減少したものの、コンビニエンスストア販売やドラッグストア販売が増加し、乗用車販売も増加するなど、持ち直しの動き。住宅建築は、持家が増加したものの、貸家、分譲住宅が減少するなど、減少傾向。設備投資は、製造業・非製造業ともに投資を積み増す動きがみられるなど、持ち直し。公共工事は、独立行政法人等、県、市町村が増加したものの、国が減少するなど、足許減少。輸出は、輸送用機器が増加したものの、紙類が減少するなど、やや弱含み。

生産活動は、石油製品、一般機械が減少したものの、非鉄金属、電気機械が増加するなど、緩やかな持ち直しの動き。観光は、観光地の入込客が増加するなど、上向き。雇用は、有効求人倍率が上昇し、現金給与総額が増加するなど、回復。

先行きは、回復の動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								